

2025 年 3 月のブルーベリー農園その 2

サクラの開花情報が話題に上る季節になっているが東広島市豊栄町のブルーベリー農園の早春はあまり変わり映えのしない景色が広がっている。田んぼの畔起こしがち

らほらと行われ、農耕用のトラクターが道路を走るのを見かける。町内にあるイセキの展示会が開催されており農家の方の車がたくさんまっている。会場の紅白の幕が花見ではないがちょっと春めいた空気を作っている。そんな中ブルーベリーの手入れは今は剪定の真最中で農作業もなにかと気ぜわしい日々。

3 月 7 日（金） イノシシが来たようでブルーベリー畑のそばの道を掘り起こしていた。すぐに土を固めて直した。来たのは久しぶりだったが大きな被害はなかった



ブルーベリー畑の水路の向こうののり面に広がるスキは今年の重たい雪のせいばたばたと倒れている



ブルーベリーの剪定作業では株元からヒコバエを出そうとこぶから写真のように小指大の太さの根が舌のように伸びてその先からヒコバエを出す。これはよくないので切ってやる



3 月 9 日（日） 午後から農作業開始。気温も上がり剪定作業がはかどる



3 月 10 日（月） 春らしい穏やかな天気つづく。ブルーベリーの剪定を続ける



3 月 11 日（火） この日もいい天気。ブルーベリーの

花芽も日に日に膨らむ



小さいブルーベリーの木のある畑で肥料をまく。株元にはモグラの掘った空洞ができていたのでかかとで踏み固めながらの作業となる



大きな木の株元のヒコバエの除去作業では写真のような根がありその途中からひげ根を生やすのがブルーベリーの根の特徴。根の深さは浅い。



3月12日(水) 小さい木の枝に葉芽から若々しい葉が出てきた



地べたにの野の花の咲き具合も広がりを見せている。

① オオイヌノフグリ



② ホトケノザ



野の花はこれくらいで、花木も農園のウメの花はまだ咲かず、ツバキもまだ

2025年3月15日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良

《2025年3月15日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》